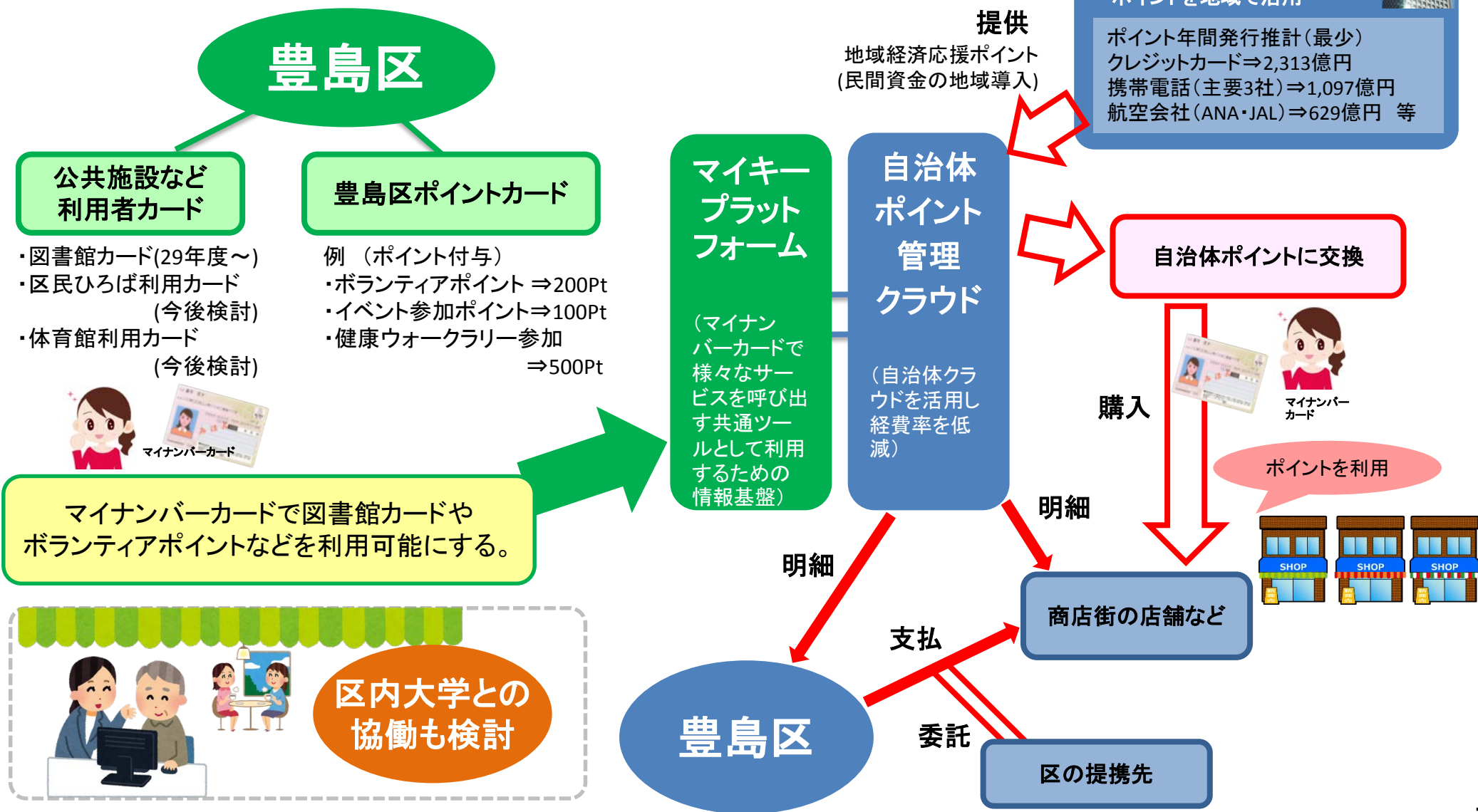


マイキープラットフォーム等の活用検討事例発表

1. 東京都豊島区
2. 大分県豊後高田市
3. 宮崎県都城市
4. 三重県津市
5. 奈良県天理市
6. 福岡県大牟田市
7. 熊本県小国町

豊島区版「マイキープラットフォーム」構想案(検討中)



マイキープラットフォーム等の活用検討例②：大分県豊後高田市〔人口 22,692人〕

現 状

<市内での活用>

○健康ウォークポイント（予算額：1,076千円）

- ・特定検診等にポイント付与
- ・5000ポイント以上の上位200人の方に市内商店街「昭和の町」の商品券（1人5千円、5百円券×10枚おとりなし）〔商工会議所事業〕

○エコマネー事業（予算額：192千円）

- ・名所旧跡でのそうじ等に参加した方に100エコマネー（100円分）付与
- ・プール、温泉、市内乗合いタクシー等に利用可能

<クレジットカードなどのポイントやマイルを地域で活用できない／有効期限切れで活用していない>

<オンラインの活用>

○千年ロマン百貨店

- ・豊後高田市観光まちづくり株式会社が独自に運営するインターネットショッピングサイト

○オンラインでのふるさと納税も実施中

※オンライン共同利用は民間サービスを活用

申込み方法の割合（平成27年度）

F A X	1.70 %
郵 便	6.46 %
オンライン共同利用※	81.26 %
独自特設サイト	10.33 %
持 参	0.26 %

マイキープラットフォーム等の活用

◎ 自治体ポイント管理クラウドに設定して、飛躍的な利便性向上と低コスト化

- 3つの方法で対応
- ・自治体ポイントと商品券を交換して従来どおり商店街で物品購入
 - ・自治体ポイントをそのまま商店街での物品購入等に活用
 - ・自治体ポイントをポイント券で利用して物品購入等に活用

市内商店街（商工会議所）での活用やプール、温泉、市内乗合いタクシー等での活用を充実

庁内事務作業の簡素化

<地域経済応援ポイントとして加算>

◎ オンライン共同利用による、ふるさと納税のノウハウを活用してオンライン販売を実施

クレジットカード等のポイントやマイル利用やクレジット決済による販売促進

共同利用方式により、低コストでのポイントやマイルの利用やクレジット決済利用に加え、広く全国からの利用が容易に

マイキープラットフォーム等の活用検討例③：宮崎県都城市〔人口 163,965人〕

前提：ポイントがオンライン上で決済可能であること
：通信販売形式を採る

地域経済応援
ポイント



都城市
ポイント
(自治体ポイント)

※クレジットカード等のポイントやマイレージを交換

オンライン購入

- ◎手続きが容易で、多くのポイントの流入が期待できる。
- ◎各商店では基盤整備不要
- ◎ポイントの活用で現金購入のリピーターを創出
- ◎ふるさと納税の基盤を活用可能
- ◎全国にまだ知られていない隠れた特産品の販路開拓の一助

自治体特設サイト

地元の特産品の販売

(自治体が地元商店等へ発注)

※運営費として一定割合は自治体へ残すことも検討



チキン南蛮スティック
(地場もん国民大賞：九州ブロック代表商品)
10本入り、2,400円



〈玉〉金霧島 9,500円



豚タンの味噌漬け燻製
(宮崎県優良県産品)
5,400円

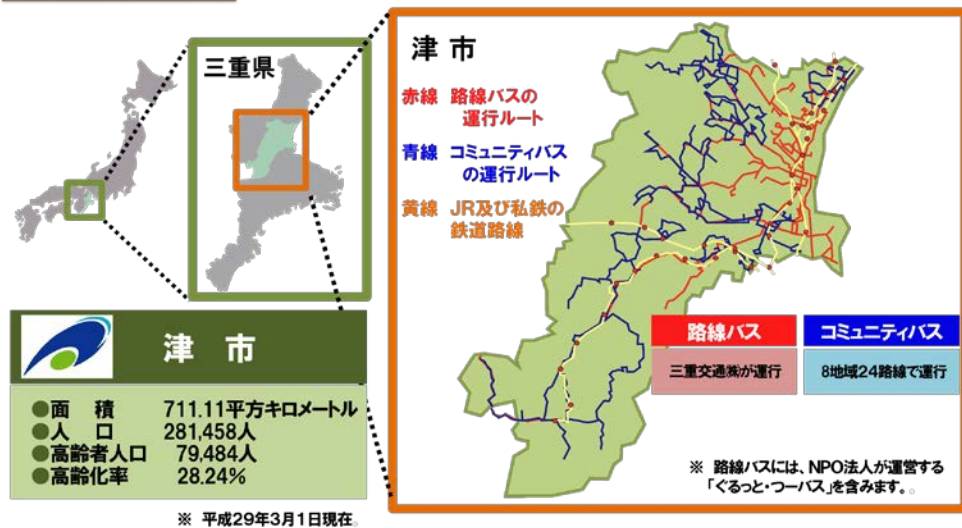


新燃岳火山灰練り込み陶器(復興関連)
左2,000円、中央3,000円、
右6,400円

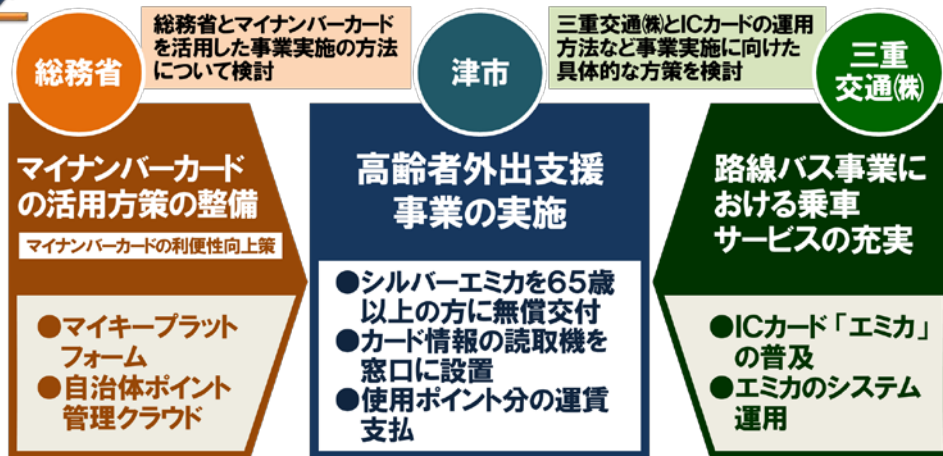
マイキープラットフォーム等の活用検討例④：三重県津市

対象者：市内に住所を有する65歳以上の方
平成29年3月1日現在 79,484人

公共交通網



仕組み



津市高齢者外出支援事業

対象者 市内に住所を有する**65歳以上**の方

概要

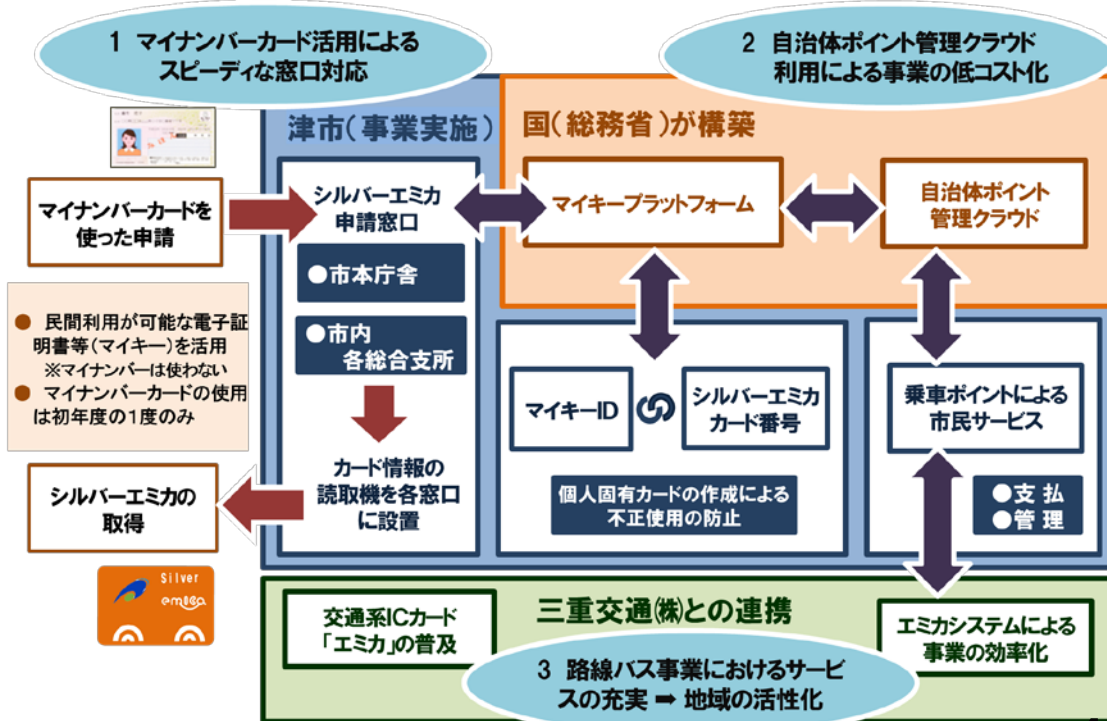
- ▶ 三重交通株式会社のICカード「エミカ」を活用したオリジナルICカード「シルバーエミカ」を利用者に無償交付
- ▶ シルバーエミカに乗車ポイントを年間2,000ポイントを上限として付与
(乗車ポイントは運賃支払いの時に1ポイント1円換算で利用可能)
- ▶ シルバーエミカは、エミカと同様、現金をチャージ(入金)して利用することが可能

対象となる交通機関 運賃精算にエミカを利用できるバス

- 三重交通グループの「路線バス」
- NPO法人バスネット津の「ぐるっと・つーバス」

コミュニティバスの運賃が無料に

シルバーエミカを降車時に提示するだけで、コミュニティバスを無料で利用可能



マイキープラットフォーム等の活用検討例⑤：奈良県天理市〔人口 67,051人〕

「てんり めぐみ めぐる ポイント券」発行、流通イメージ

消費行動①



【駅周辺加盟店】
川原城、三島、田井庄商工連盟

- 通常通りレシートを発行
※レシート発行が出来ない
店舗は領収書を発行

➢ 使用された金額を請求(商工会)

➢ 請求金額の支払い(市)

発行日：2017/1/30

**てんり めぐみ めぐる
ポイント券**

【利用ポイント】

100 ポイント

【有効期間】
2017年1月30日～2017年3月30日

★〇〇商店街の各店舗でご利用頂けます。

めぐみ
めぐり
てんり

<発行認印>
印

<利用店舗印>
印

【商店街内
市産業振興館】

- レシートに記載された
金額の10%分のポイント券を発行

※1ポイント1円換算、端数切り捨て、
100円単位での発行（1,000円以上の買い物が対象）
※レシート上限金額5万円（最大5,000ポイントの発行）

【市商工会】

- ポイント券を現金化（換金）



【駅周辺加盟店】

- ポイント券に記載された分の
金額を割引く



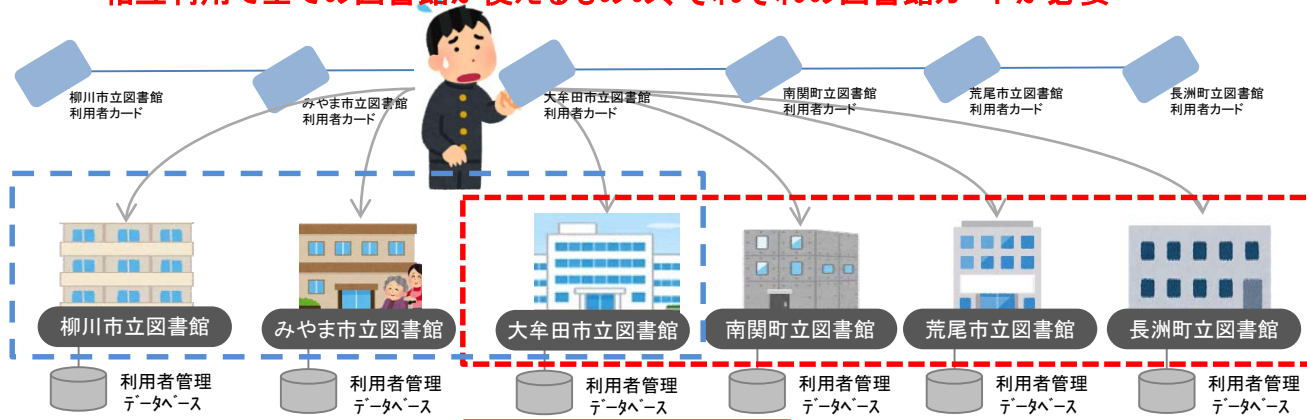
消費行動②



マイキープラットフォーム等のイメージ例⑥：福岡県大牟田市〔人口 116,086人〕

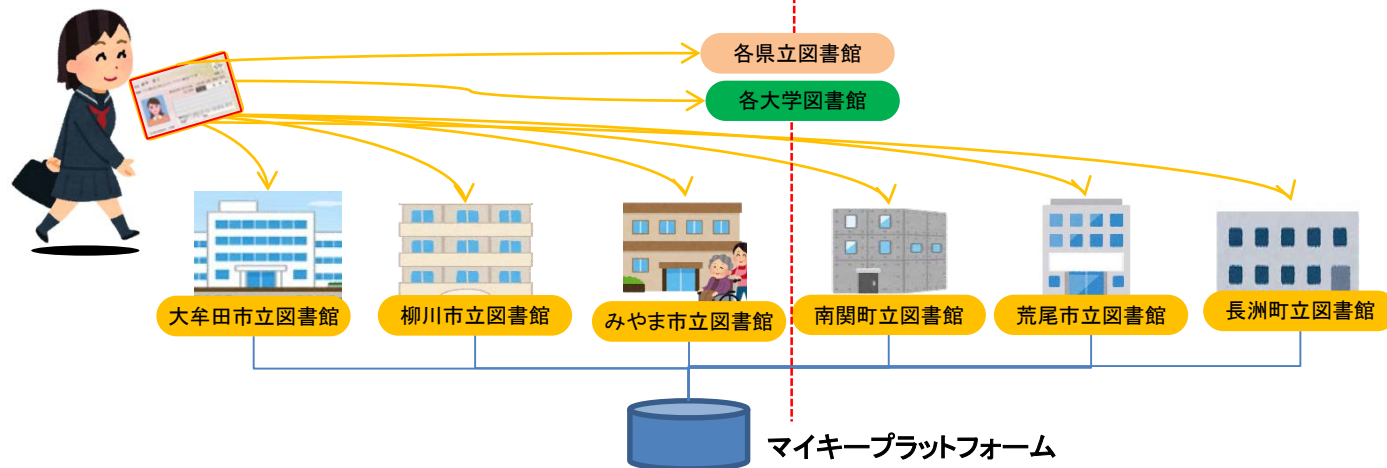
現 状

相互利用で全ての図書館が使えるものの、それぞれの図書館カードが必要

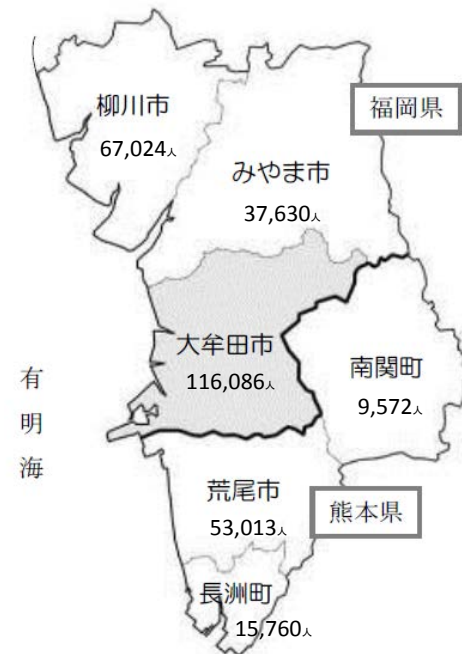


マイキープラットフォーム等の活用例（イメージ）

マイナンバーカード1枚で会員となった全ての図書館が利用可能に



有明圏域定住自立圏〔人口 299,085人〕



【経緯】

- H22年10月 大牟田市、柳川市、みやま市が協定を締結し、「有明圏域定住自立圏」を形成。医療、福祉、地域公共交通、道路等のインフラ整備、人材の育成などの分野において、連携した取組を行う。
- H23年 3月 「有明圏域定住自立圏共生ビジョン」策定
- H25年 3月 熊本県荒尾市、南関町、長洲町と協定を締結し、圏域を4市2町に拡大
- H28年 3月 「第2次有明圏域定住自立圏共生ビジョン」策定（計画期間：H28年～32年度）

1 オンラインショッピングで地域の物産を販売

地域の現状： 地域の店舗（商店及びお土産屋）が少ない。一方、地域産物に係る事業者は相当数ある。

- 共同利用のオンラインショッピング・サイト（民間ポータルサイト）を活用し、地域物産を販売（都市部の消費者にも小国町の産品の魅力を知ってもらう）。
- 自治体ポイント管理クラウドを利用し、カード会社や航空会社等全国企業のポイントをショッピングに利用できる自治体ポイントに交換する（地域経済応援ポイント）。

2 郷土の偉人をブランドに

地域の現状： 町の知名度が低い。

- 自治体ポイントの名称を「小国町北里柴三郎ポイント」とし、地域の住民に愛着を抱いていただくとともに、全国的な知名度向上を目指す。

3 全国団体との連携したプロモーション

地域の現状： 全国に呼びかけるチャネルがない。

- 北里柴三郎先生縁の団体、北里大学（学祖）、慶応大学医学部（創設者）、日本医師会（初代会長）と連携し、プロモーションを図る。



北里柴三郎先生
小国町ホームページより

<略 歴>

- 1853年 北里村（現小国町北里）に生まれる
- 1875年 東京医学校（現・東京大学医学部）に進学
- 1883年 内務省衛生局に奉職
- 1889年 破傷風菌の純粋培養法の確立
- 1890年 血清療法を発見
- 1914年 北里研究所を創設
- 1917年 慶應義塾大学医学部を創設、初代医学部長
- 1923年 日本医師会発足、初代会長
- 1931年 死去

一般財団法人学びや里ホームページ等 より